

2023年 4月14日

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	経済学部	身分	准教授
氏名	村上弘毅		
NAME	Hiroki Murakami		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

多数部門経済における景気循環及び経済成長の理論的研究

2. 研究期間

2019年度～2022年度 ※2021・2022年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により延長

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

この研究は、産業その他の部門毎に集計された経済変数を基に、一国経済を多数部門から構成される体系として表現するマクロ経済理論を設計し、以て多数部門間の相互依存の関係の結果としての一国経済における現象を適切に分析することを目的とする。この研究は、特に、景気循環及び経済成長の過程における多数部門の相互作用の効果を考察するものである。

この研究課題の成果は、次に掲げる論文である。

1. Murakami, H., Zimka, R., 2020. On dynamics in a two-sector Keynesian model of business cycles. *Chaos, Solitons and Fractals* 130, 1-8 (Article 109419).
2. Murakami, H., Zimka, R., 2021. On dynamics in a medium-term Keynesian model. *Discrete and Continuous Dynamical Systems B* 26 (11), 5925-5940.

第1号論文は、消費財及び投資財の2部門から構成されるマクロ経済体系を再検討し、かかる体系で存在し景気循環を表現する周期解が安定的であるかないかを数学的見地から分析したものである。これは、多数部門から構成される経済体系における景気循環の性質を理論的に考察したものである。第2号論文は、第1号論文で使用された方法を1部門から構成される経済体系に応用し、同様の分析を行ったものである。

（英文）

The following works are the outcomes of this research project:

1. Murakami, H., Zimka, R., 2020. On dynamics in a two-sector Keynesian model of business cycles. *Chaos, Solitons and Fractals* 130, 1-8 (Article 109419).
2. Murakami, H., Zimka, R., 2021. On dynamics in a medium-term Keynesian model. *Discrete and Continuous Dynamical Systems B* 26 (11), 5925-5940.

The first paper analyzes the existence and stability of periodic orbits, representing business cycles, in a macroeconomic model composed of two sectors (consumption-goods and investment-goods). The second one applies the mathematical method used in the first to a one-sector macroeconomic model.